

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.3</b>	0.15	<b>3.2</b>	1.00	<b>3.2</b>
<b>1.1 騒音</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00	
2 設備騒音対策				-	-	-	-	
<b>1.2 遮音</b>				<b>3.8</b>	0.40	<b>3.6</b>	0.40	
1 開口部遮音性能		T-2以上を採用		<b>5.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.30	
2 界壁遮音性能				<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	<b>3.0</b>	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	<b>3.0</b>	0.20	
<b>1.3 吸音</b>				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20	
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.1</b>	0.35	<b>3.2</b>	1.00	<b>3.1</b>
<b>2.1 室温制御</b>				<b>3.2</b>	0.50	<b>3.4</b>	0.50	
1 室温				<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	0.57	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能		窓SC:0.52程度、U=2.9程度、外壁:U=0.77程度		<b>4.0</b>	0.25	<b>4.0</b>	0.43	
4 ゾーン別制御性				<b>3.0</b>	0.38	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20	
<b>2.3 空調方式</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.2</b>
<b>3.1 昼光利用</b>				<b>4.2</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30	
1 昼光率		食堂・デイルーム昼光率:5.5%、1階111室昼光率:3.4%		<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.60	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
<b>3.2 グレア対策</b>				<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御		庇、カーテンで制御		<b>2.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
<b>3.4 照明制御</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25	
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.8</b>	0.25	<b>4.1</b>	1.00	<b>3.9</b>
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		内装材はF をほぼ全面的に使用		<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>				<b>4.0</b>	0.30	<b>4.3</b>	0.38	
1 換気量		食堂・デイルーム-建築物衛生法を満たす換気量の1.4倍以上 居室-建築物衛生法を満たす換気量の1.4倍以上 AW3開口部3.58㎡/1階113室22.82㎡=0.16		<b>5.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	0.33	
2 自然換気性能				-	-	<b>5.0</b>	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33	
4 給気計画				-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御				<b>3.0</b>	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	<b>3.6</b>
<b>1 機能性</b>				<b>4.0</b>	0.40	<b>4.8</b>	1.00	<b>4.3</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性		個室:19.74㎡/床以上、多床室9.955㎡/床以上		-	-	<b>5.0</b>	1.00	
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-	
3 バリアフリー計画				<b>3.0</b>	1.00	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>5.0</b>	0.30	<b>4.5</b>	0.40	
1 広さ感・景観		病室天井高=2.5m		-	-	<b>4.0</b>	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画		患者・スタッフ・地域の計画コンセプトを基に、照明と内装の一体計画としている		<b>5.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	0.50	
<b>1.3 維持管理</b>				<b>4.5</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		ビニル床シートの採用、屋根には溶解亜鉛メッキ		<b>5.0</b>	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		専用の清掃流しを設けている。		<b>4.0</b>	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.1</b>	0.31	-	-	<b>3.1</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.0</b>	0.48	-	-	
1 耐震性				<b>3.0</b>	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>3.2</b>	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				<b>3.0</b>	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>2.0</b>	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		病室:床ビニル床シート、壁塗装(PBt12)、天井ロッカー-ル化粧吸音板t12(PBt9.5)		<b>5.0</b>	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水及び汚水排水及び雑排水:VP、給湯:HT、Eは不使用		<b>5.0</b>	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型便器、系統の分離	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.3	0.29	3.3	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31	3.6	0.50	
1	階高のゆとり	各階階高3.70m以上	4.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率1階:0.26	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺との色彩の調和に配慮している	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制		PAL低減率=16.9%、複層ガラスの採用、高効率空調機の採用	4.0	0.30	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=16.7%、高効率設備機器の採用	4.0	0.30	-	-	4.0
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	4.0		-	-	
		集合住宅の評価			-	-	
4 効率的運用			4.0	0.20	-	-	4.0
4.1	モニタリング	ライフサイクルコスト試算表作成	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	将来を見据えた計画の提示を行った	4.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水型水栓に加え節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材利用(U字側溝下部)、ビニル床シート	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	防水工事のプライマー	4.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率=85%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1	大気汚染防止	ヒートポンプ給湯器の採用	4.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たす、広告物照明無し	5.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	